【資料２】

名寄市
第 10 期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画
策定に係るアンケート調査結果報告書
【概要版】

住民アンケート調査結果からみた高齢者等の現状

令和9年 10 月

名寄市

目次

住民アンケート調査結果からみた高齢者等の現状 1

第１節　調査の概要 1
１．調査の目的 1
２．回収状況 1

第２節　調査結果の概要 2
１．介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果 2
（１）家族構成 2
（２）日常生活での介護・介助の必要性 3
（３）介護・介助が必要になった主な原因 4
（４）地域活動への参加者としての参加意向 6
（５）地域活動への企画・運営としての参加意向 7
（６）認知症に関する相談窓口を知っているか 8
（７）日常生活での困りごと 9

２．在宅介護実態調査結果 11
（１）施設等の検討状況 11
（２）抱えている傷病 12
（３）主な介護者が行っている介護等 13
（４）不安に感じる介護等について 14
（５）認知症状への対応について感じている不安 15
（６）認知症の方を在宅で介護するにあたり求める支援 16
（７）認知症の心配がある場合に受診・相談を行うか 17
（８）日常生活での困りごと 18

３．保健医療福祉についてのアンケート調査結果 20
（１）生活習慣病予防の運動をしているか 20
（２）直近１年間の特定健診受診の有無 21
（３）チームオレンジの活動への参加者としての参加意向 22
（４）地域で認知症高齢者を支えるために必要なこと 23
（５）困っている人に協力できること 24
（６）保険料と介護サービスのあり方について 25
（７）高齢者福祉政策で重点を置くべきこと 26

第３節　アンケート調査結果の総括 27
１．介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 27
２．在宅介護実態調査 27
３．保健医療福祉についてのアンケート 27

住民アンケート調査結果からみた高齢者等の現状

第1節　調査の概要

本計画を策定するにあたり、「名寄市第 10 期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画」策定のための、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、「在宅介護実態調査」、「保健医療福祉についてのアンケート」を実施しました。この調査は、本市における高齢者福祉及び介護サービスの現状を把握するとともに、第 10 期計画策定のための基礎資料とすることを目的としたものです。

1. 調査の目的

調査	目的
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	保険者が、一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定（地域診断）に資することなどを目的とするもの。
在宅介護実態調査	「家族等介護者の就労継続」や「要介護者の適切な在宅生活の継続」などについての、客観的な状態把握とその達成に向けた施策検討を行うことを目的とするもの。
保健医療福祉についてのアンケート	20 歳～64 歳の一般市民の、保健医療福祉に関わる日常の生活状況や健康意識を把握し、介護予防施策の検討の基礎資料とすることを目的としたもの。

2. 回収状況

調査	調査対象	配布数	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	市内在住の 65 歳以上（令和８年６月１日現在）で要介護１～５の認定を受けていない方	600 票	433 票	72.2% （前回 62.8%）
在宅介護実態調査	市内在住の 65 歳以上で、要介護認定を受けられている方	600 票	365 票	60.8% （前回 57.6%）
保健医療福祉についてのアンケート	市内在住の 20 歳から 64 歳までの方	600 票	202 票	33.7% （前回 30.5%）

第2節　調査結果の概要

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

(1)家族構成

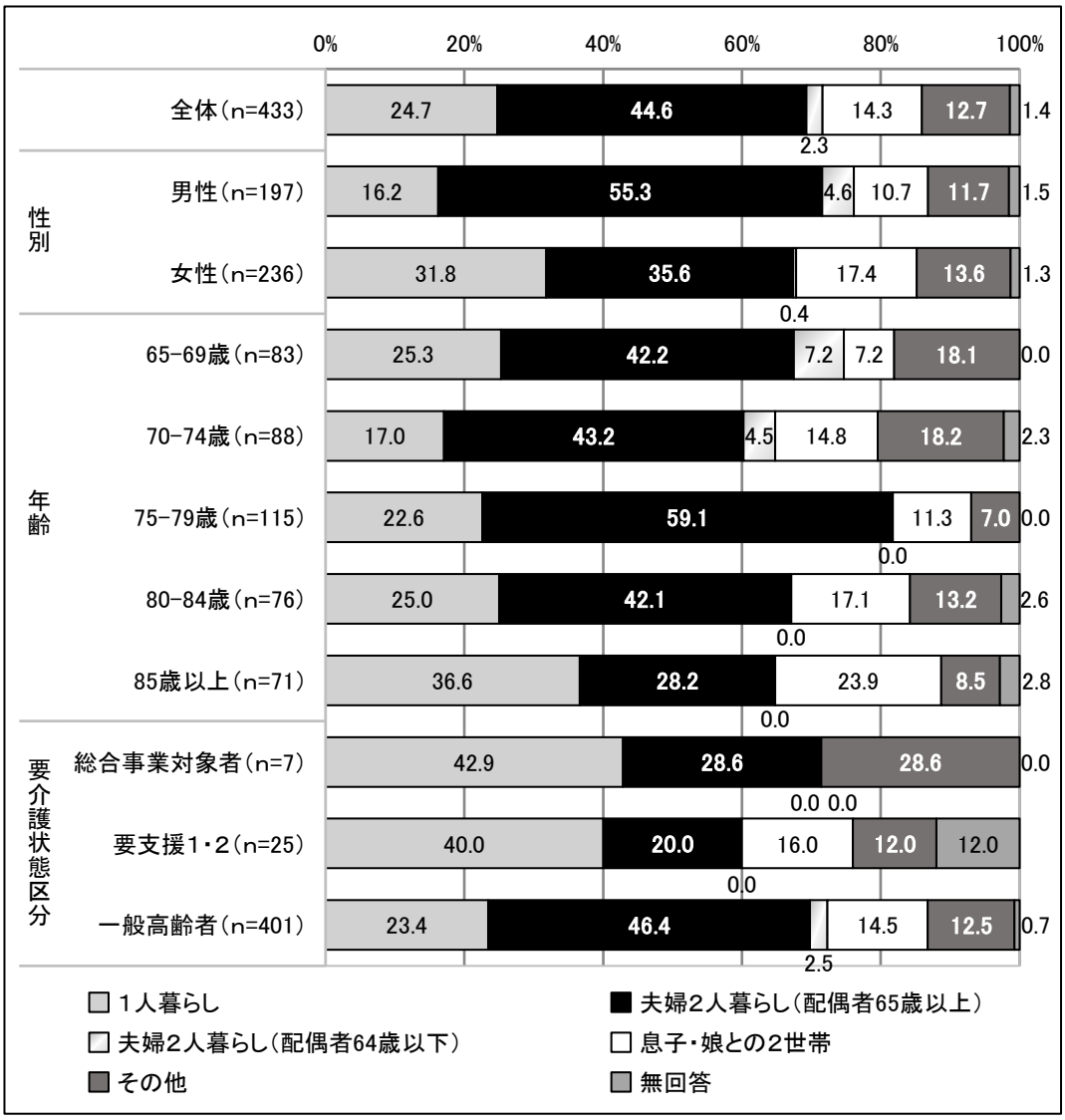
問２　家族構成をお教えください。

▼

結果概要

「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」（44.6%）と「１人暮らし」（24.7%）を中心に、高齢者のみで構成される世帯が 71.6%を占めています。
「１人暮らし」は男性 16.2%に対して女性 31.8%と高く、85 歳以上では 36.6%に達しています。

■家族構成（全体・属性別）■



(2)日常生活での介護・介助の必要性

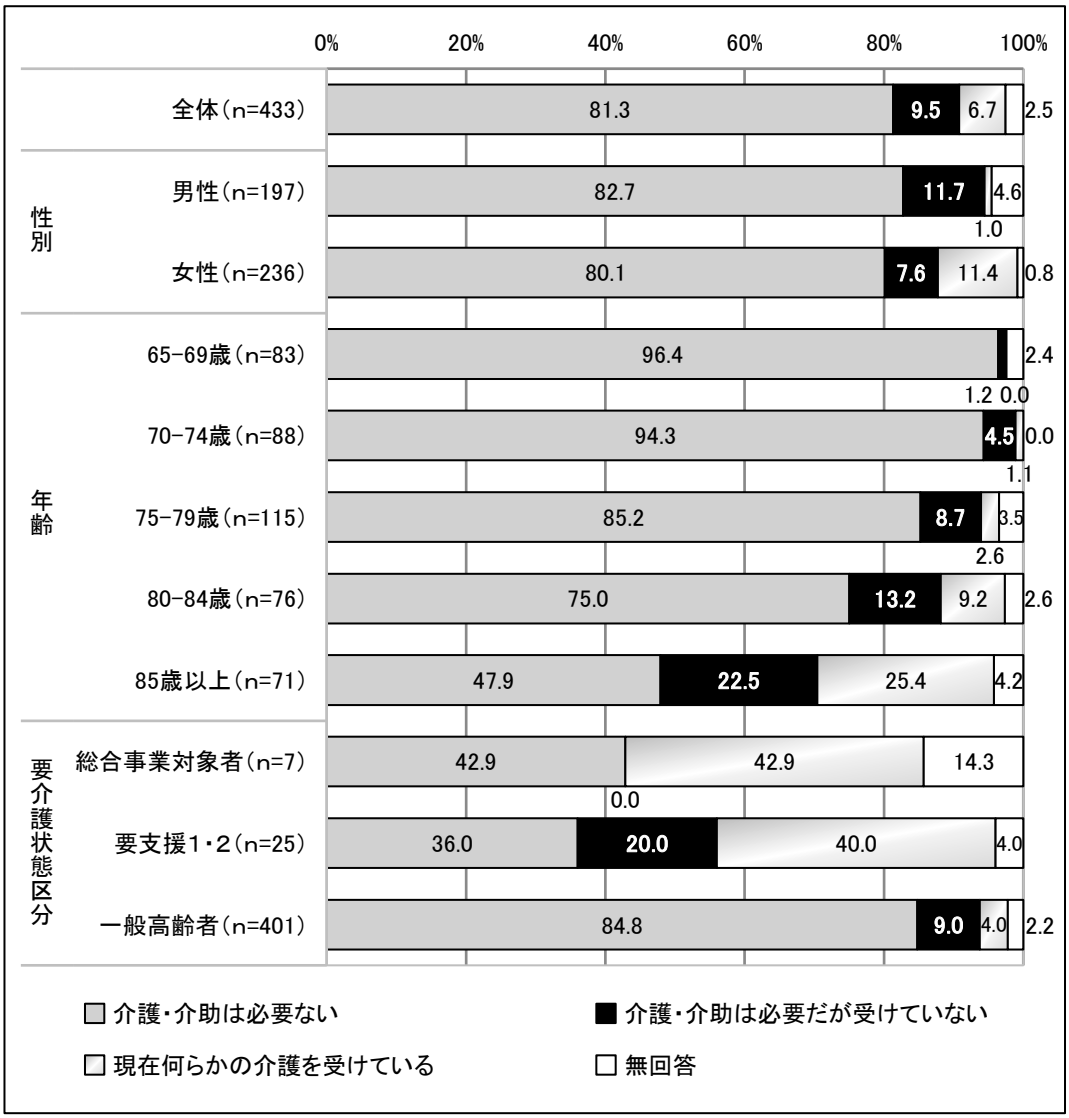
問３　あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

▼

結果概要

何らかの介護・介助を必要とする方は 16.2%となっています。
年齢による差が大きく、65～69 歳の 1.2%に対し、85 歳以上では 47.9%となっています。

■日常生活での介護・介助の必要性(全体・属性別)■



(3)介護・介助が必要になった主な原因

※「介護・介助が必要」な方のみ

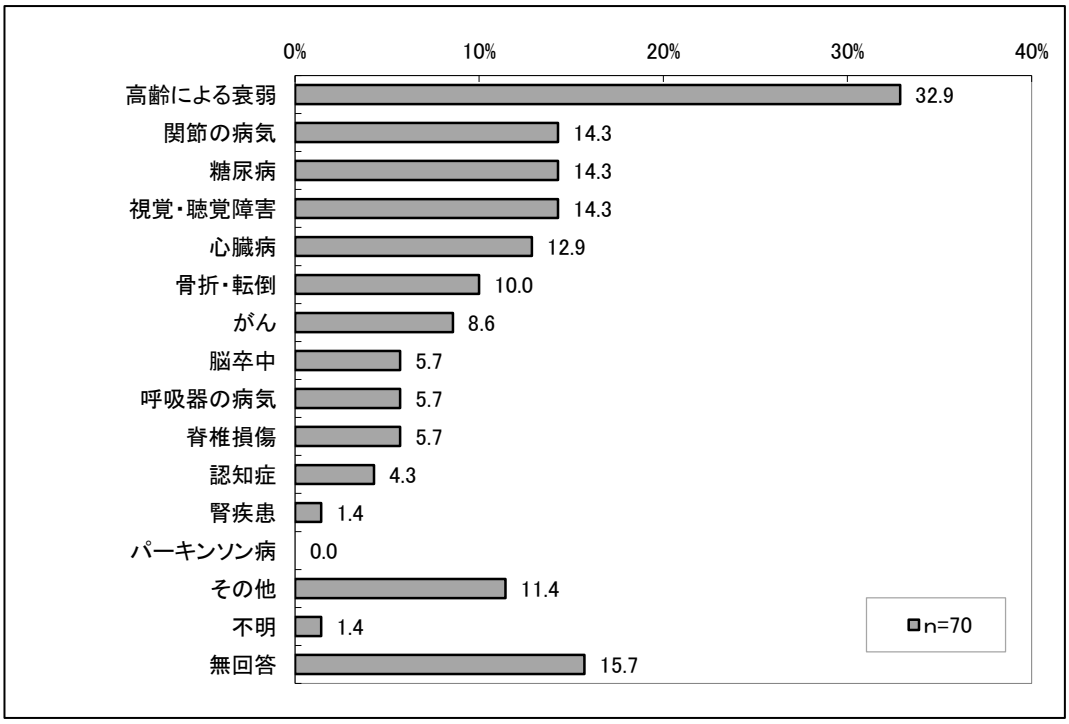
問 3-1　介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。【複数回答】

▼

結果概要

「高齢による衰弱」が 32.9%で最も多く、「関節の病気」・「糖尿病」・「視覚・聴覚障害」（同率 14.3%）がこれに続いています。
特定の疾病よりも加齢に伴う心身機能の低下が主な要因となっており、フレイル予防の取組が重要であることがうかがえます。

■介護・介助が必要になった主な原因(全体)■



■介護・介助が必要になった主な原因（全体・属性別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問3-1 介護・介助が必要になった主な原因								
			脳卒中	心臓病	がん	呼吸器の病気	関節の病気	認知症	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患
全体		70	4	9	6	4	10	3	0	10	1
		100.0%	5.7%	12.9%	8.6%	5.7%	14.3%	4.3%	0.0%	14.3%	1.4%
性別	男性	25	3	5	2	2	3	1	0	2	1
		100.0%	12.0%	20.0%	8.0%	8.0%	12.0%	4.0%	0.0%	8.0%	4.0%
	女性	45	1	4	4	2	7	2	0	8	0
		100.0%	2.2%	8.9%	8.9%	4.4%	15.6%	4.4%	0.0%	17.8%	0.0%
年齢	65-69歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	70-74歳	5	0	0	1	0	0	0	0	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	75-79歳	13	2	4	2	0	5	0	0	1	1
		100.0%	15.4%	30.8%	15.4%	0.0%	38.5%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%
	80-84歳	17	0	2	1	1	2	1	0	1	0
		100.0%	0.0%	11.8%	5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%
	85歳以上	34	2	3	2	3	3	2	0	5	0
		100.0%	5.9%	8.8%	5.9%	8.8%	8.8%	5.9%	0.0%	14.7%	0.0%
要介護状態区分	総合事業対象者	3	0	1	0	1	2	0	0	1	0
		100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	要支援１・２	15	1	1	1	0	0	2	0	3	0
		100.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	20.0%	0.0%
	一般高齢者	52	3	7	5	3	8	1	0	6	1
		100.0%	5.8%	13.5%	9.6%	5.8%	15.4%	1.9%	0.0%	11.5%	1.9%

		合計	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答	非該当
全体		70	10	7	4	23	8	1	11	363
		100.0%	14.3%	10.0%	5.7%	32.9%	11.4%	1.4%	15.7%	
性別	男性	25	5	1	0	7	3	1	4	172
		100.0%	20.0%	4.0%	0.0%	28.0%	12.0%	4.0%	16.0%	
	女性	45	5	6	4	16	5	0	7	191
		100.0%	11.1%	13.3%	8.9%	35.6%	11.1%	0.0%	15.6%	
年齢	65-69歳	1	0	0	0	0	0	0	0	82
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	70-74歳	5	0	1	0	0	1	0	1	83
		100.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	
	75-79歳	13	3	1	0	6	1	0	0	102
		100.0%	23.1%	7.7%	0.0%	46.2%	7.7%	0.0%	0.0%	
	80-84歳	17	2	3	0	4	3	0	4	59
		100.0%	11.8%	17.6%	0.0%	23.5%	17.6%	0.0%	23.5%	
	85歳以上	34	5	2	4	13	3	1	6	37
		100.0%	14.7%	5.9%	11.8%	38.2%	8.8%	2.9%	17.6%	
要介護状態区分	総合事業対象者	3	1	0	0	2	0	0	0	4
		100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	要支援１・２	15	0	3	2	6	1	0	2	10
		100.0%	0.0%	20.0%	13.3%	40.0%	6.7%	0.0%	13.3%	
	一般高齢者	52	9	4	2	15	7	1	9	349
		100.0%	17.3%	7.7%	3.8%	28.8%	13.5%	1.9%	17.3%	

(4)地域活動への参加者としての参加意向

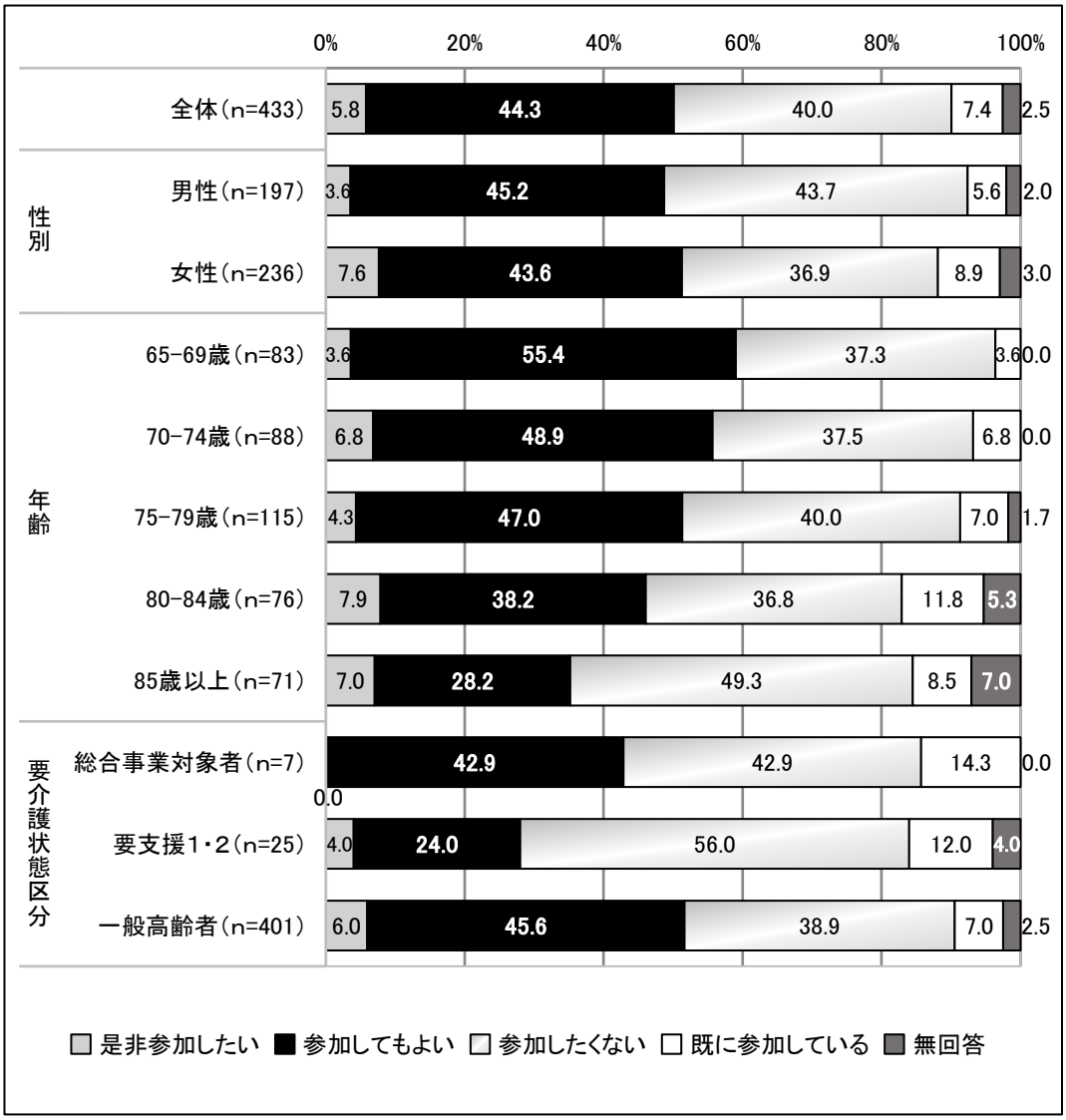
問 24　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

▼

結果概要

参加意向のある方（「是非参加したい」・「参加してもよい」・「既に参加している」の計）は 57.5%と過半数を占めていますが、加齢とともに参加意向の低下傾向が顕著となっています。

■地域活動への参加者としての参加意向(全体・属性別)■



(5)地域活動への企画・運営としての参加意向

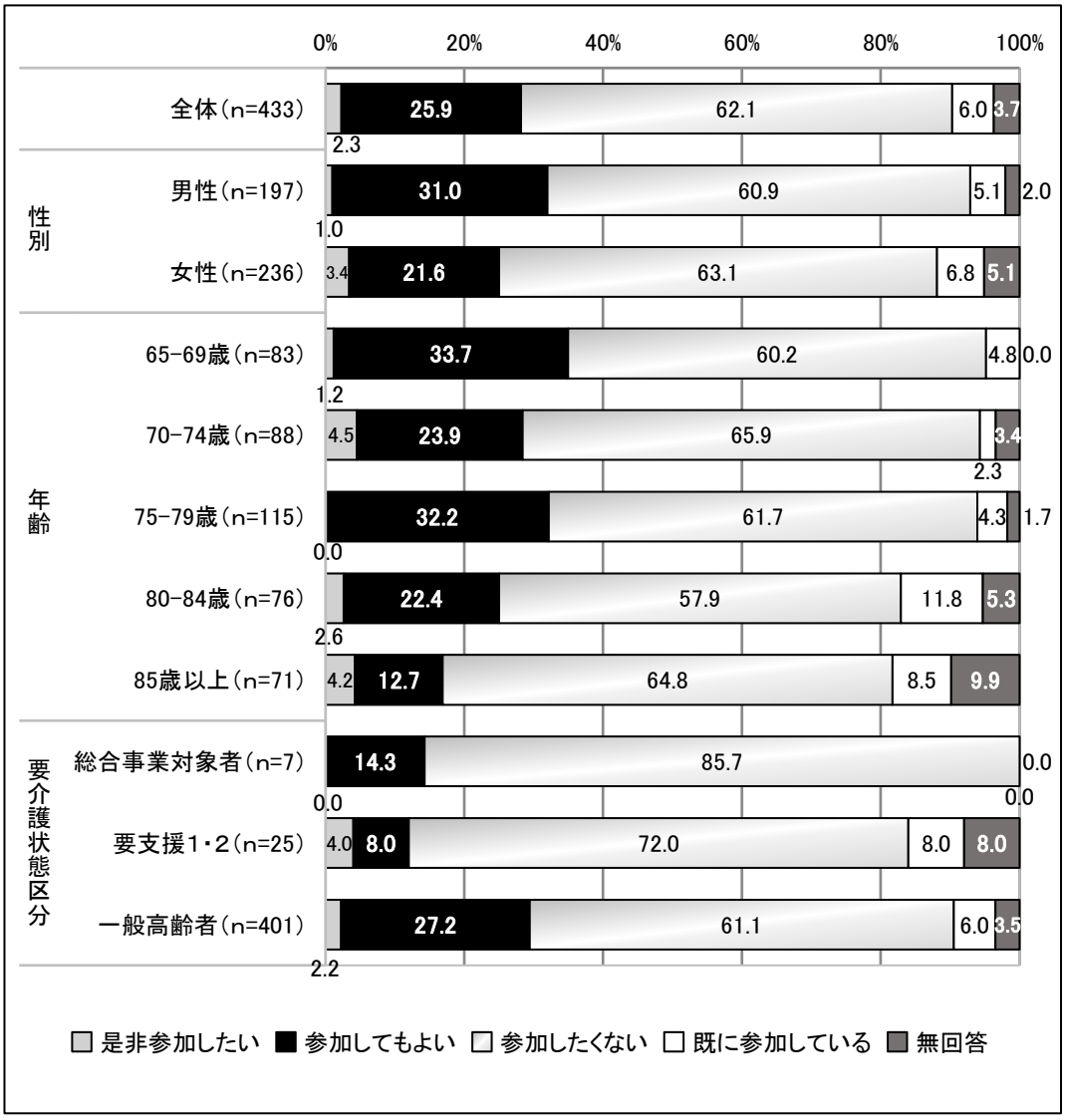
問 25　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

▼

結果概要

「参加したくない」が 62.1%を占め、参加意向のある方は 34.2%にとどまっています。参加者としての参加意向（57.5%）と比べて大きく下回っており、担い手の確保が課題となっています。

■地域活動への企画・運営としての参加意向(全体・属性別)■



(6)認知症に関する相談窓口を知っているか

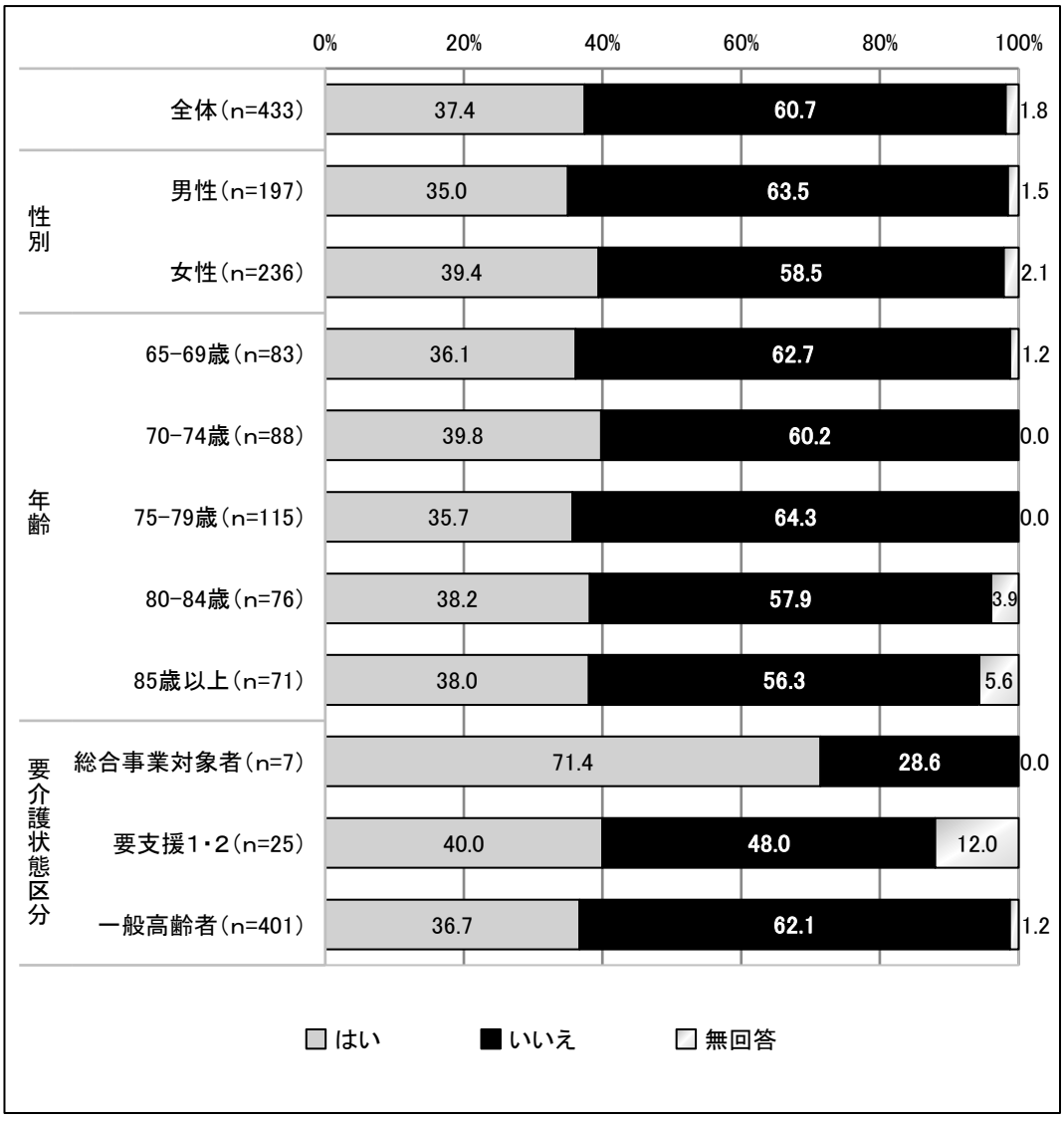
問 40　認知症に関する相談窓口を知っていますか。

▼

結果概要

「いいえ」が 60.7%を占めており、相談窓口を知らない方が６割を超えています。
認知症に関する相談窓口の周知が課題となっています。

■認知症に関する相談窓口を知っているか(全体・属性別)■



(7)日常生活での困りごと

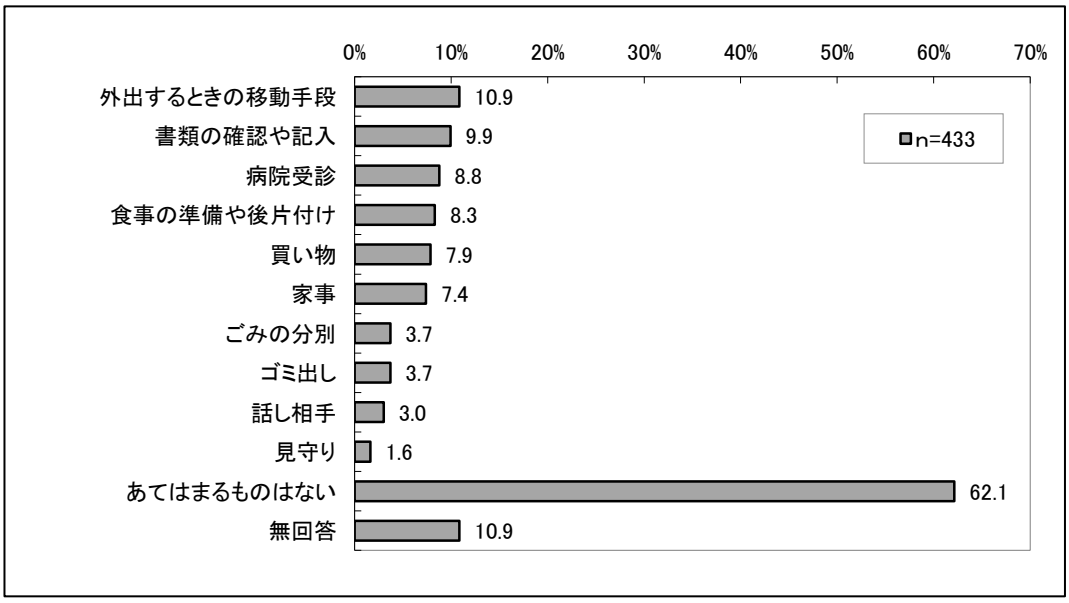
問 46　日常生活での困りごとはありますか。【複数回答】

▼

結果概要

「あてはまるものはない」が 62.1%を占める一方、「外出するときの移動手段」(10.9%)、「書類の確認や記入」（9.9%）が困りごととしてあげられています。
「あてはまるものはない」は 65～69 歳の 85.5%に対し 85 歳以上では 29.6%となっており、後期高齢者で生活上の困難が顕在化しています。

■日常生活での困りごと(全体)■



■日常生活での困りごと(全体・属性別、一位の数値に網掛け)■

		合計	問46 日常生活での困りごと					
			家事	食事の準備や後片付け	書類の確認や記入	ごみの分別	ゴミ出し	買い物
全体		433	32	36	43	16	16	34
		100.0%	7.4%	8.3%	9.9%	3.7%	3.7%	7.9%
性別	男性	197	14	20	15	7	4	15
		100.0%	7.1%	10.2%	7.6%	3.6%	2.0%	7.6%
	女性	236	18	16	28	9	12	19
		100.0%	7.6%	6.8%	11.9%	3.8%	5.1%	8.1%
年齢	65-69歳	83	1	2	2	0	0	1
		100.0%	1.2%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	1.2%
	70-74歳	88	4	4	4	5	2	5
		100.0%	4.5%	4.5%	4.5%	5.7%	2.3%	5.7%
	75-79歳	115	9	11	11	4	6	5
		100.0%	7.8%	9.6%	9.6%	3.5%	5.2%	4.3%
	80-84歳	76	4	7	9	2	1	8
		100.0%	5.3%	9.2%	11.8%	2.6%	1.3%	10.5%
	85歳以上	71	14	12	17	5	7	15
		100.0%	19.7%	16.9%	23.9%	7.0%	9.9%	21.1%
要介護状態区分	総合事業対象者	7	2	1	2	1	1	2
		100.0%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%
	要支援１・２	25	6	4	7	1	2	4
		100.0%	24.0%	16.0%	28.0%	4.0%	8.0%	16.0%
	一般高齢者	401	24	31	34	14	13	28
		100.0%	6.0%	7.7%	8.5%	3.5%	3.2%	7.0%

		合計	病院受診	外出するときの移動手段	見守り	話し相手	あてはまるものはない	無回答
全体		433	38	47	7	13	269	47
		100.0%	8.8%	10.9%	1.6%	3.0%	62.1%	10.9%
性別	男性	197	13	12	3	4	134	17
		100.0%	6.6%	6.1%	1.5%	2.0%	68.0%	8.6%
	女性	236	25	35	4	9	135	30
		100.0%	10.6%	14.8%	1.7%	3.8%	57.2%	12.7%
年齢	65-69歳	83	1	2	0	1	71	4
		100.0%	1.2%	2.4%	0.0%	1.2%	85.5%	4.8%
	70-74歳	88	5	5	1	4	66	6
		100.0%	5.7%	5.7%	1.1%	4.5%	75.0%	6.8%
	75-79歳	115	8	6	4	1	77	12
		100.0%	7.0%	5.2%	3.5%	0.9%	67.0%	10.4%
	80-84歳	76	8	18	0	2	34	11
		100.0%	10.5%	23.7%	0.0%	2.6%	44.7%	14.5%
	85歳以上	71	16	16	2	5	21	14
		100.0%	22.5%	22.5%	2.8%	7.0%	29.6%	19.7%
要介護状態区分	総合事業対象者	7	3	2	1	0	2	1
		100.0%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%
	要支援１・２	25	6	5	1	0	5	5
		100.0%	24.0%	20.0%	4.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	一般高齢者	401	29	40	5	13	262	41
		100.0%	7.2%	10.0%	1.2%	3.2%	65.3%	10.2%

2. 在宅介護実態調査結果

(1)施設等の検討状況

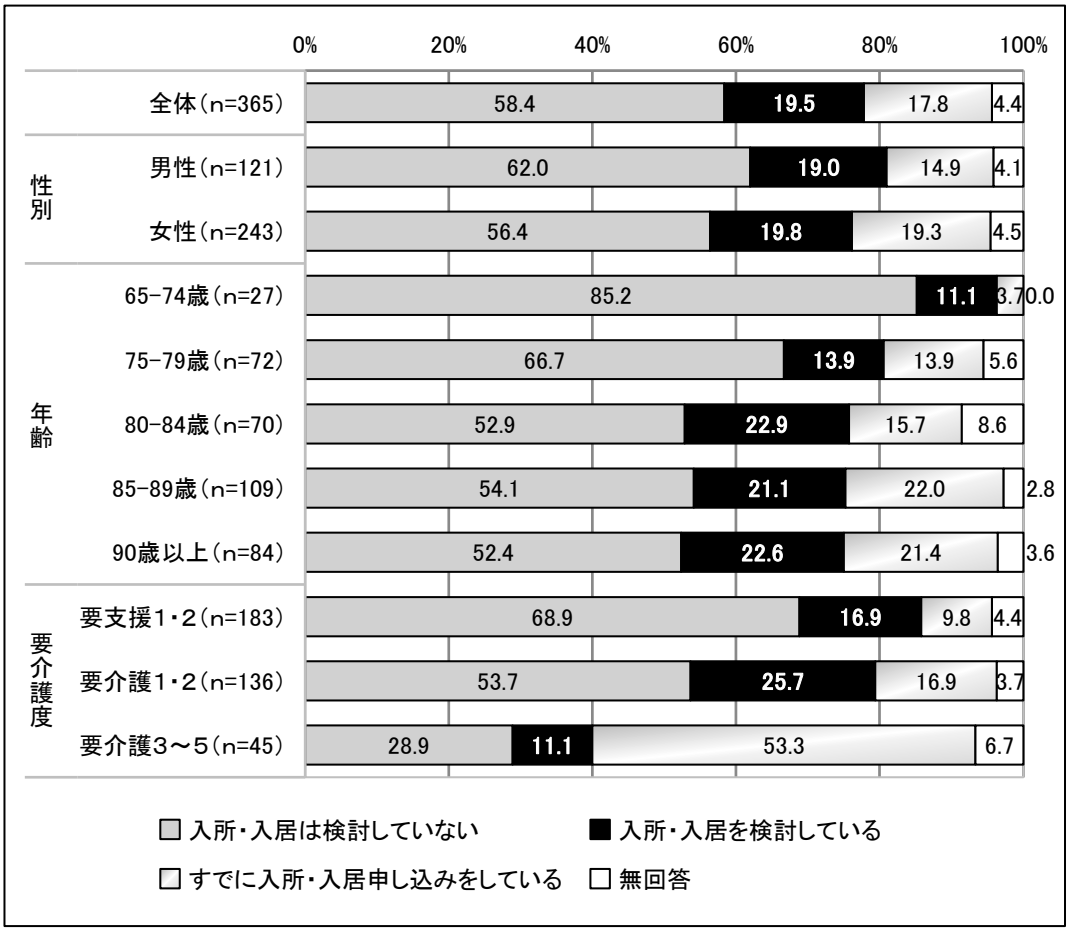
A問６　現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

▼

結果概要

「入所・入居は検討していない」が 58.4%で最も多く、「入所・入居を検討している」（19.5%）、「すでに入所・入居申し込みをしている」（17.8%）が続いています。
「入所・入居は検討していない」は要支援１・２で 68.9%に対し要介護３～５では 28.9%にとどまっており、要介護度が重くなるほど施設等への入所・入居を検討する割合が高くなっています。

■施設等の検討状況（全体・属性別）■



(2)抱えている傷病

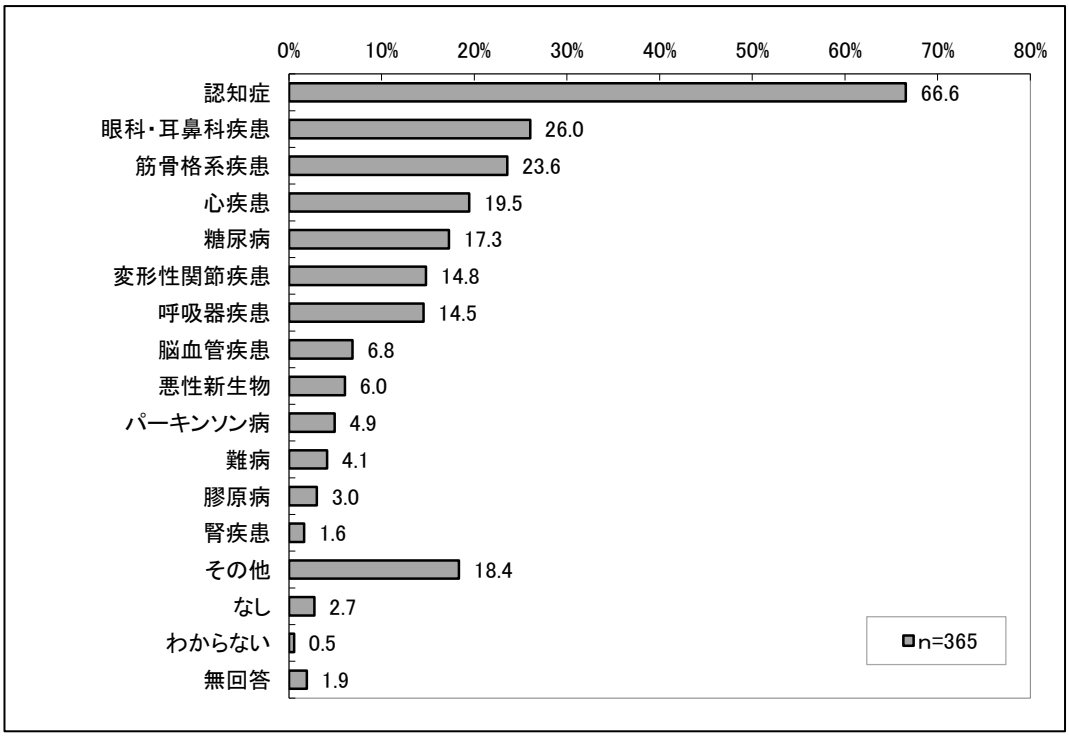
A問7　宛名のご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。【複数回答】

▼

結果概要

「認知症」が66.6%で第1位となっており、次いで「眼科・耳鼻科疾患」（26.0%）、「筋骨格系疾患」（23.6%）となっています。

■抱えている傷病(全体)■



(3)主な介護者が行っている介護等

※「家族や親族が介護している」方のみ

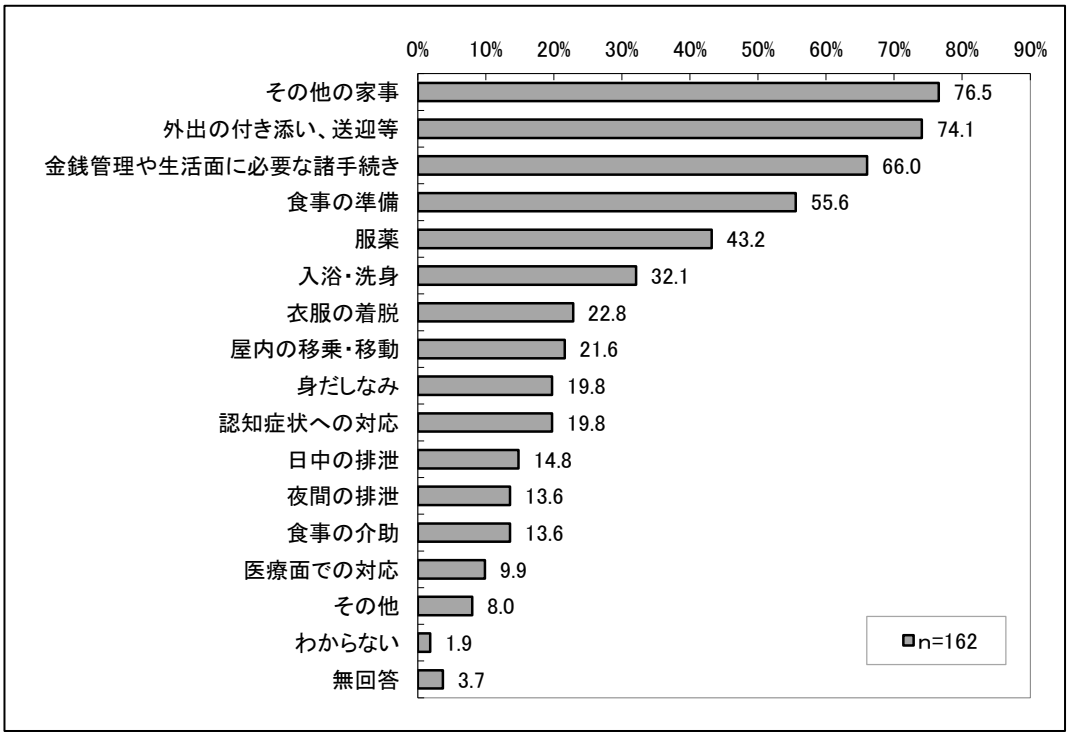
B問5　現在、主な介護者が行っている介護等について、ご回答ください。【複数回答】

▼

結果概要

「その他の家事」が 76.5%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」（74.1%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（66.0%）となっています。

■主な介護者が行っている介護等(全体)■



(4)不安に感じる介護等について

※「家族や親族が介護している」方のみ

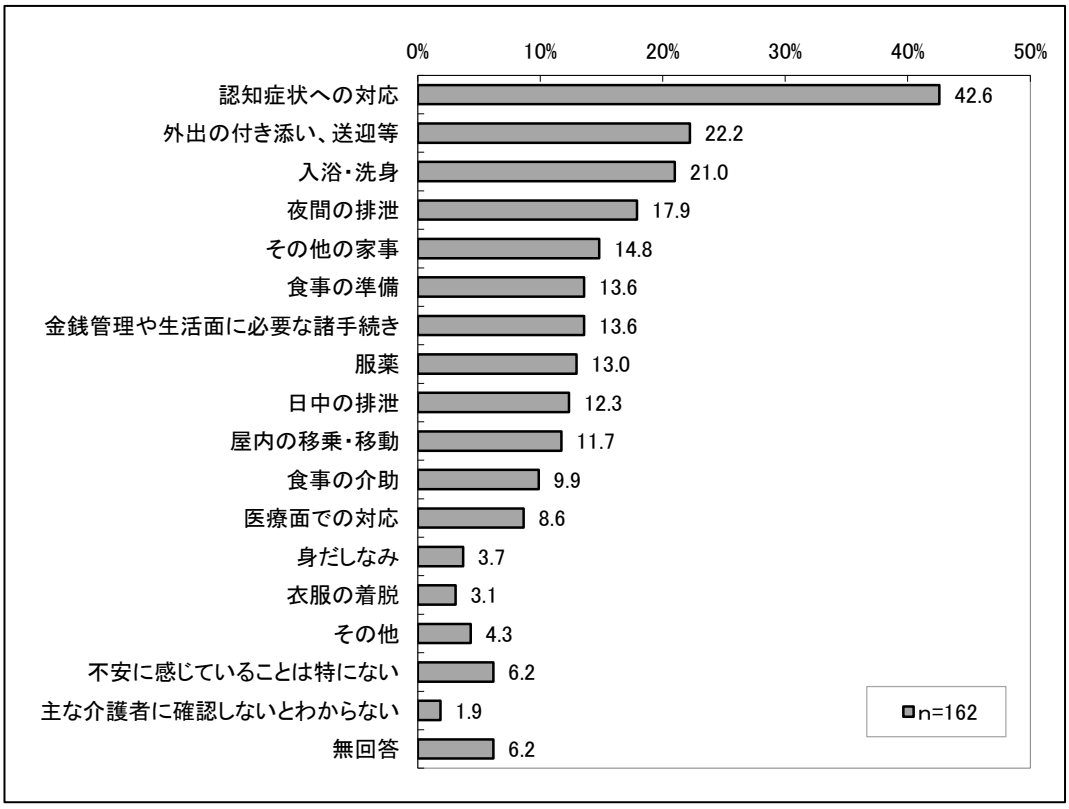
B問6　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。現状で行っているか否かは問いません。【複数回答】

▼

結果概要

「認知症状への対応」が42.6%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」(22.2%)、「入浴・洗身」(21.0%)となっています。

■主な介護者が不安に感じる介護等(全体)■



(5)認知症状への対応について感じている不安

※B問６で「認知症状への対応」を選んだ方のみ

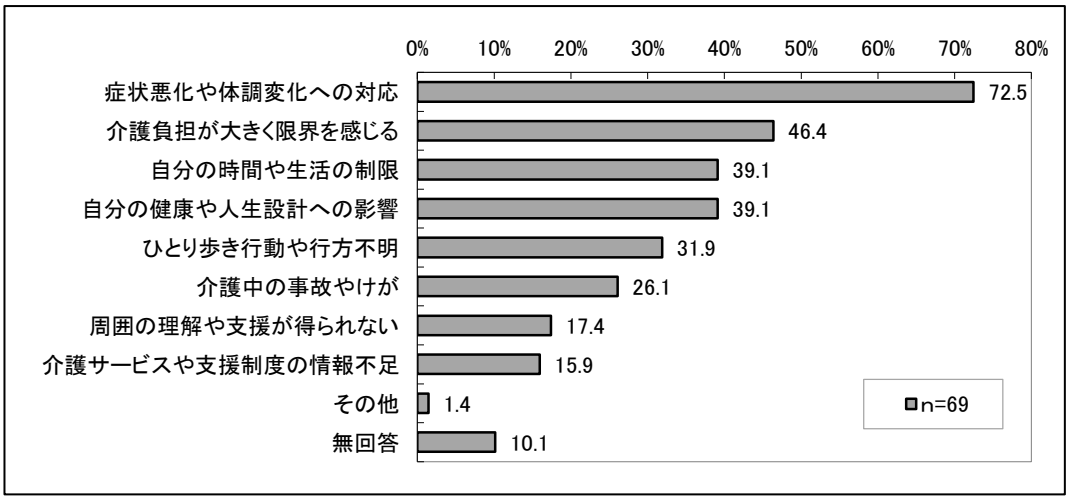
B問 6-1　認知症状への対応について、あなたが感じている不安には具体的にどのようなものがありますか。【複数回答】

▼

結果概要

「症状悪化や体調変化への対応」が 72.5%で最も多く、次いで「介護負担が大きく限界を感じる」（46.4%）、「自分の時間や生活の制限」・「自分の健康や人生設計への影響」（同率 39.1%）となっています。

■認知症状への対応について感じている不安(全体)■



(6)認知症の方を在宅で介護するにあたり求める支援

※B問６で「認知症状への対応」を選んだ方のみ

B問 6-2　認知症の方を在宅で介護するにあたり、地域や行政に対してどのような支援を求めますか。【複数回答】

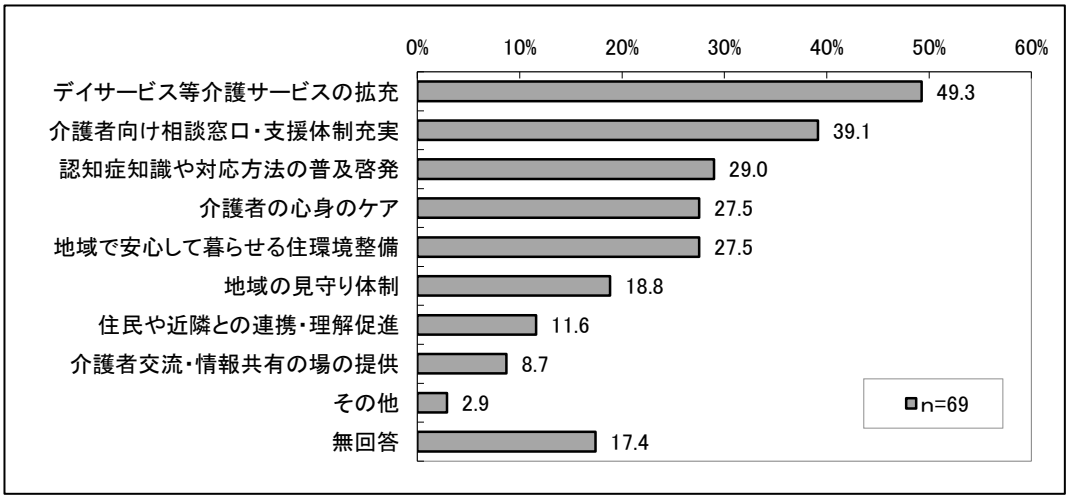
▼

結果概要

「デイサービス等介護サービスの拡充」が 49.3%で最も多く、次いで「介護者向け相談窓口・支援体制充実」（39.1%）、「認知症知識や対応方法の普及啓発」（29.0%）となっています。

「デイサービス等介護サービスの拡充」は要支援１・２で 26.7%であるのに対し要介護１・２では 58.3%となっており、要介護度が重くなるほどそのニーズが高くなる傾向がみられます。

■認知症の方を在宅で介護するにあたり求める支援(全体)■



(7)認知症の心配がある場合に受診・相談を行うか

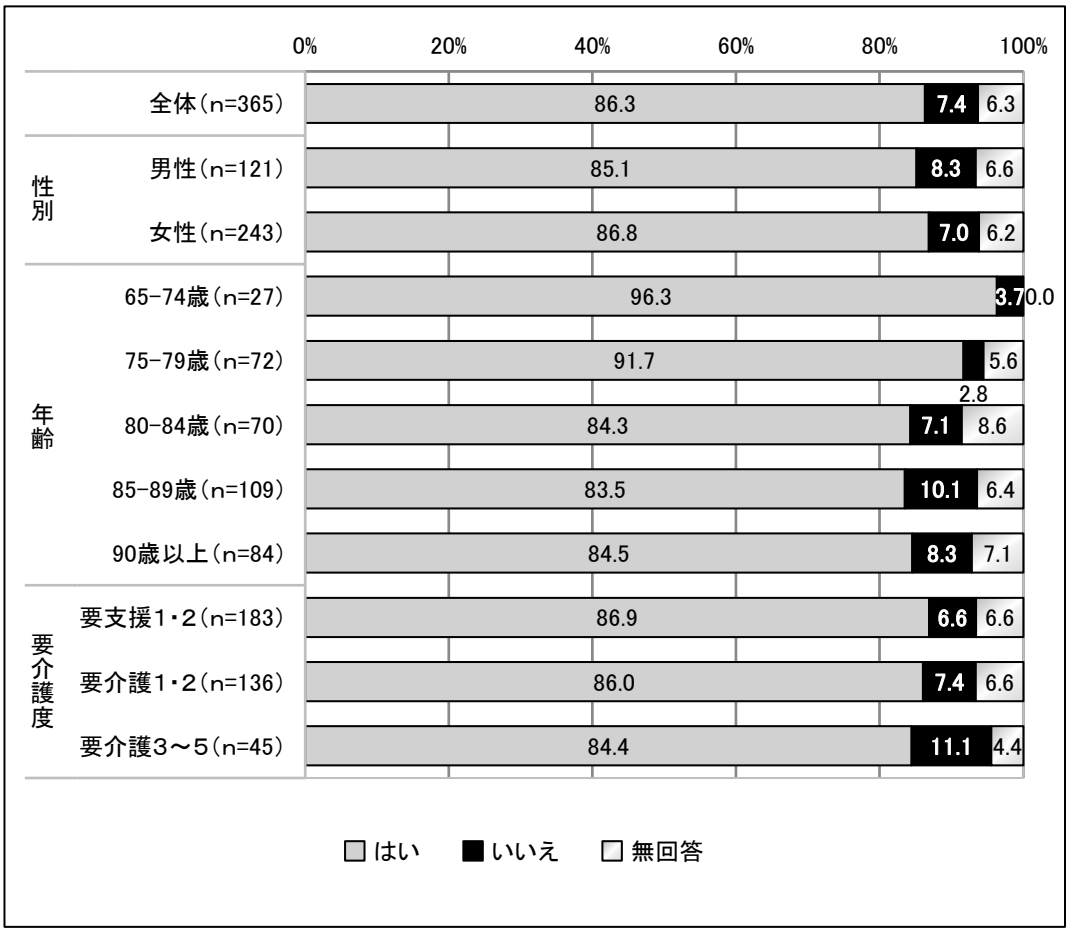
C問1　あなたやご家族に、認知症の心配があったときに病院や相談窓口に行こうと思いますか。

▼

結果概要

「はい」が 86.3%と大多数を占め、「いいえ」は 7.4%にとどまっています。
「はい」は 65～74 歳で 96.3%であるのに対し 90 歳以上では 84.5%となっており、年齢が上がるにつれてやや低下する傾向がみられます。

■認知症の心配がある場合に受診・相談を行うか(全体・属性別)■



(8)日常生活での困りごと

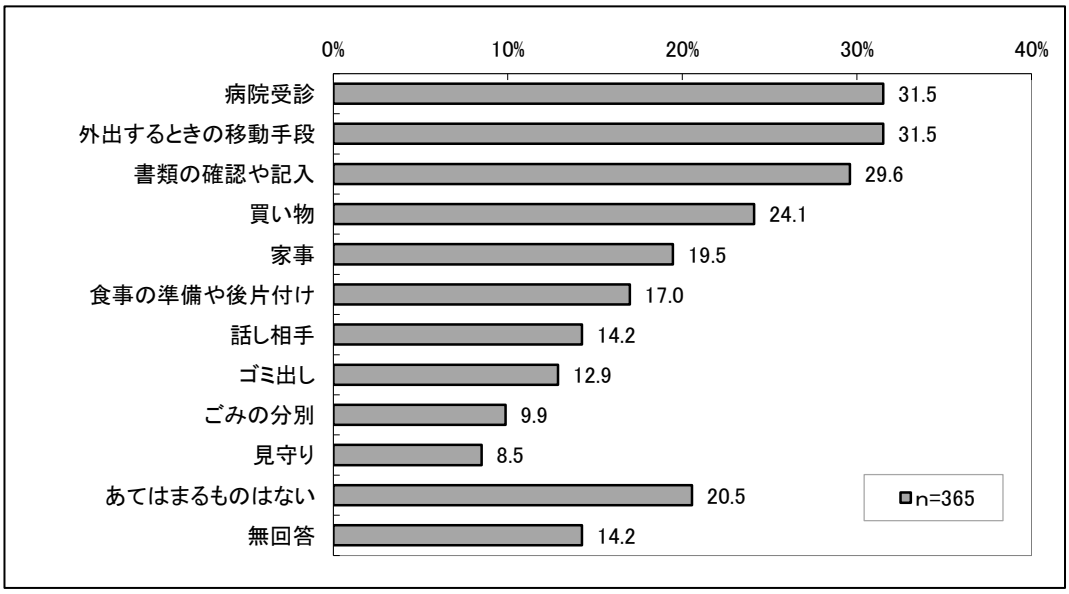
C問6　日常生活での困りごとはありますか。【複数回答】

▼

結果概要

「病院受診」・「外出するときの移動手段」が同率 31.5%で最も多く、次いで「書類の確認や記入」（29.6%）、「買い物」（24.1%）となっています。
「病院受診」は 65～74 歳で 18.5%であるのに対し 80～84 歳では 35.7%となっており、年齢が上がるほど通院に関する困りごとを感じる割合が高くなる傾向がみられます。

■日常生活での困りごと(全体)■



■日常生活での困りごと(全体・属性別、一位の数値に網掛け)■

		合計	C問6 日常生活での困りごと							
			家事	食事の準備や後片付け	書類の確認や記入	ごみの分別	ゴミ出し	買い物	病院受診	外出するときの移動手段
全体		365	71	62	108	36	47	88	115	115
		100.0%	19.5%	17.0%	29.6%	9.9%	12.9%	24.1%	31.5%	31.5%
性別	男性	121	21	21	31	10	12	23	33	33
		100.0%	17.4%	17.4%	25.6%	8.3%	9.9%	19.0%	27.3%	27.3%
	女性	243	50	41	77	26	35	65	82	82
		100.0%	20.6%	16.9%	31.7%	10.7%	14.4%	26.7%	33.7%	33.7%
年齢	65-74歳	27	9	6	6	2	2	8	5	12
		100.0%	33.3%	22.2%	22.2%	7.4%	7.4%	29.6%	18.5%	44.4%
	75-79歳	72	9	10	23	5	7	12	22	21
		100.0%	12.5%	13.9%	31.9%	6.9%	9.7%	16.7%	30.6%	29.2%
	80-84歳	70	17	17	17	6	9	19	25	24
		100.0%	24.3%	24.3%	24.3%	8.6%	12.9%	27.1%	35.7%	34.3%
	85-89歳	109	17	14	28	10	16	24	34	35
		100.0%	15.6%	12.8%	25.7%	9.2%	14.7%	22.0%	31.2%	32.1%
	90歳以上	84	18	14	33	12	12	24	28	22
		100.0%	21.4%	16.7%	39.3%	14.3%	14.3%	28.6%	33.3%	26.2%
要介護度	要支援１・２	183	30	25	48	7	16	48	50	64
		100.0%	16.4%	13.7%	26.2%	3.8%	8.7%	26.2%	27.3%	35.0%
	要介護１・２	136	33	30	47	25	26	32	52	40
		100.0%	24.3%	22.1%	34.6%	18.4%	19.1%	23.5%	38.2%	29.4%
	要介護３～５	45	8	7	13	4	5	8	13	11
		100.0%	17.8%	15.6%	28.9%	8.9%	11.1%	17.8%	28.9%	24.4%

		合計	見守り	話し相手	あてはまるものはない	無回答
全体		365	31	52	75	52
		100.0%	8.5%	14.2%	20.5%	14.2%
性別	男性	121	8	13	30	18
		100.0%	6.6%	10.7%	24.8%	14.9%
	女性	243	23	39	45	33
		100.0%	9.5%	16.0%	18.5%	13.6%
年齢	65-74歳	27	0	2	6	4
		100.0%	0.0%	7.4%	22.2%	14.8%
	75-79歳	72	6	10	16	8
		100.0%	8.3%	13.9%	22.2%	11.1%
	80-84歳	70	5	7	12	10
		100.0%	7.1%	10.0%	17.1%	14.3%
	85-89歳	109	9	16	24	12
		100.0%	8.3%	14.7%	22.0%	11.0%
	90歳以上	84	11	16	16	17
		100.0%	13.1%	19.0%	19.0%	20.2%
要介護度	要支援１・２	183	7	18	36	26
		100.0%	3.8%	9.8%	19.7%	14.2%
	要介護１・２	136	19	28	25	17
		100.0%	14.0%	20.6%	18.4%	12.5%
	要介護３～５	45	5	6	14	8
		100.0%	11.1%	13.3%	31.1%	17.8%

3. 保健医療福祉についてのアンケート調査結果

(1)生活習慣病予防の運動をしているか

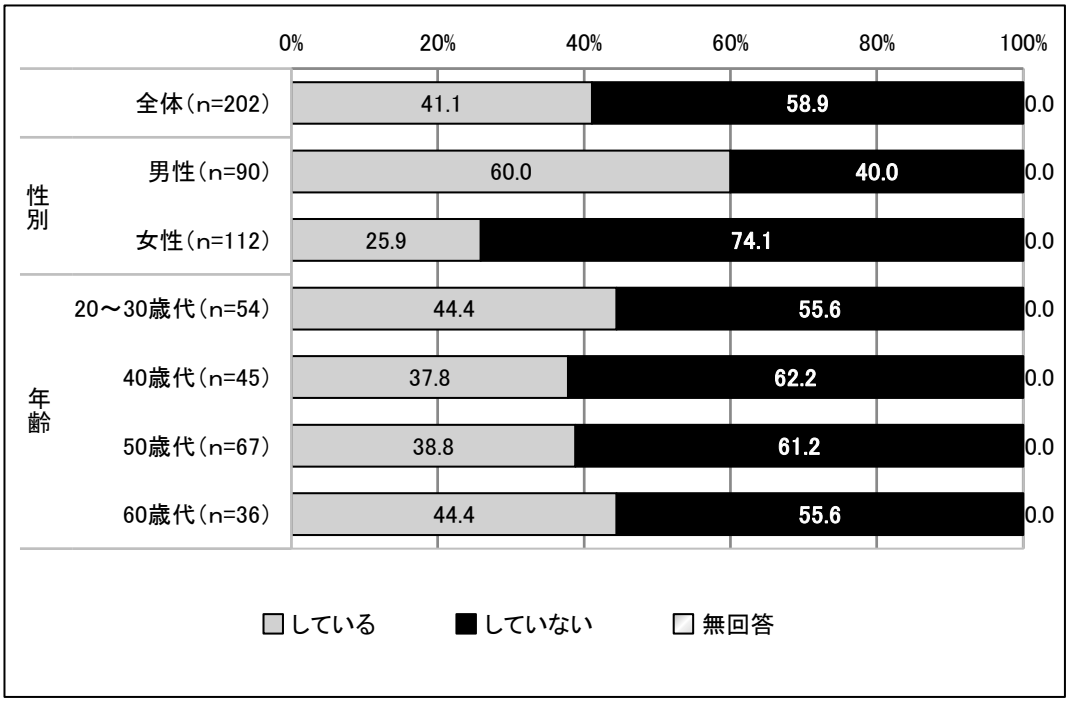
問 14　あなたは、生活習慣病予防に効果があると言われている運動（週２回以上、30 分以上の運動を１年以上継続している）を、何かされていますか。

▼

結果概要

「している」は 41.1%、「していない」が 58.9%となっています。
「している」は男性 60.0%に対して女性 25.9%と大きな差がみられ、女性で運動習慣のある方の割合が低くなっています。

■生活習慣病予防の運動をしているか(全体・属性別)■



(2)直近1年間の特定健診受診の有無

※40 歳以上の方への質問

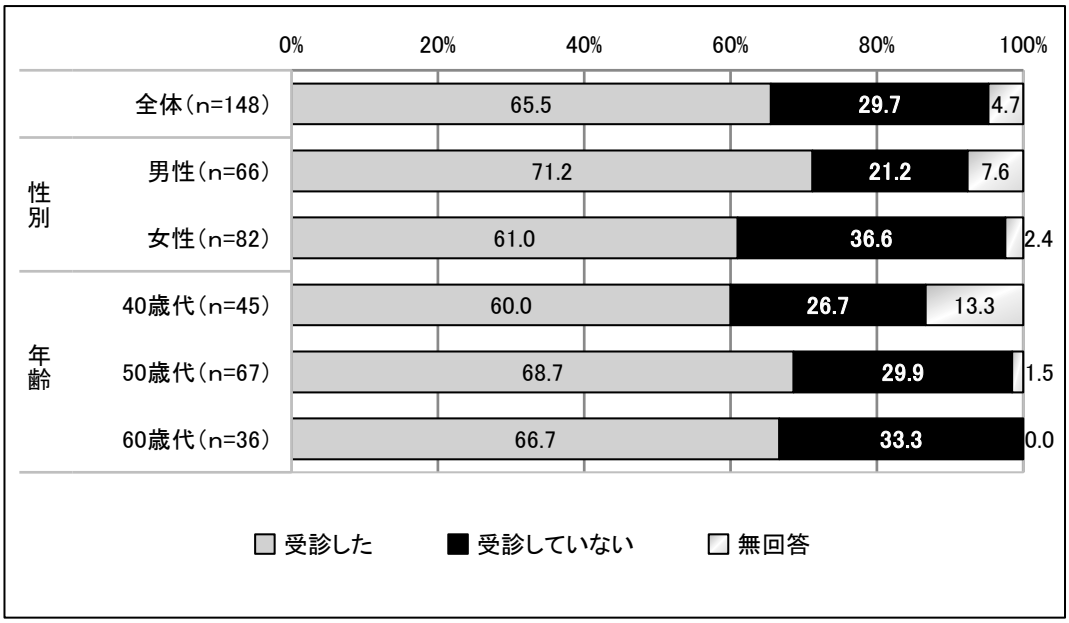
問 15　この 1 年間に、特定健診（市町村や保険者が実施する 40～74 歳向けの健康診断）を受診しましたか。

▼

結果概要

「受診した」が 65.5%、「受診していない」が 29.7%となっています。
「受診した」は男性 71.2%に対して女性 61.0%となっており、男性でやや受診率が高くなっています。

■直近1年間の特定健診受診の有無(全体・属性別)■



(3)チームオレンジの活動への参加者としての参加意向

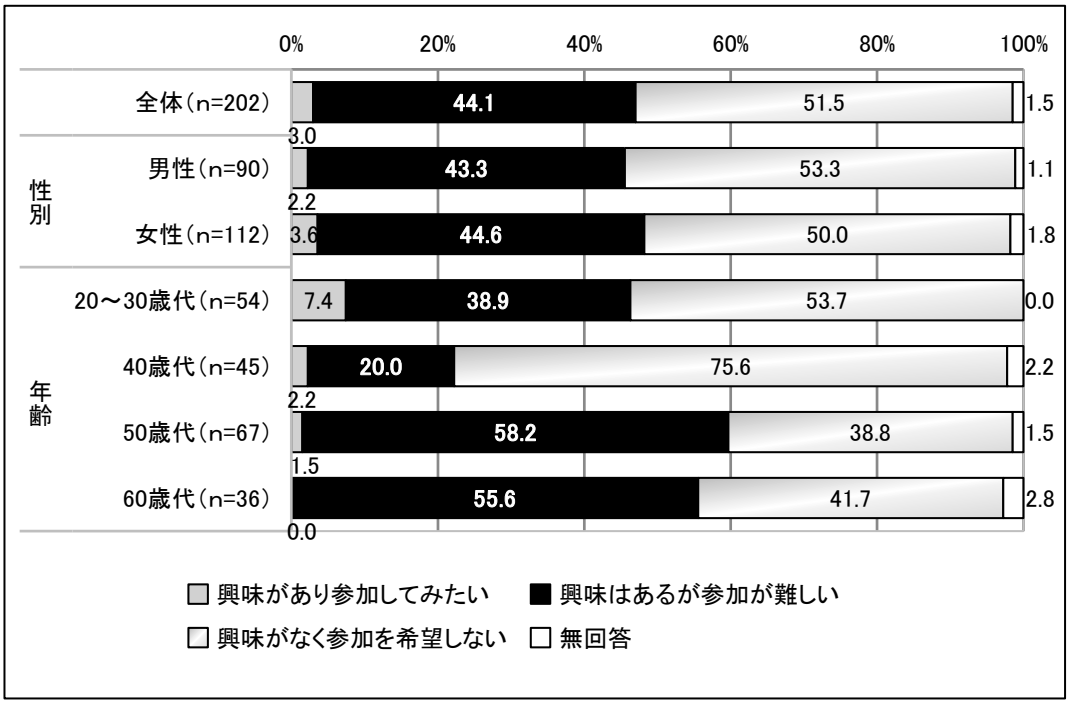
問 27　チームオレンジは現在、認知症カフェの開催（毎月第三木曜日）や介護施設での訪問レクリエーションなどを行っていますが、このような活動にボランティアや参加者としての興味がありますか。

▼

結果概要

「興味がなく参加を希望しない」が 51.5%、「興味はあるが参加が難しい」が 44.1%となっています。
40 歳代では「興味がなく参加を希望しない」が 75.6%と高い一方、50 歳代・60 歳代では「興味はあるが参加が難しい」が 55%を超えており、年代により活動への関心の持ち方に違いがみられます。

■チームオレンジの活動への参加者としての参加意向(全体・属性別)■



(4)地域で認知症高齢者を支えるために必要なこと

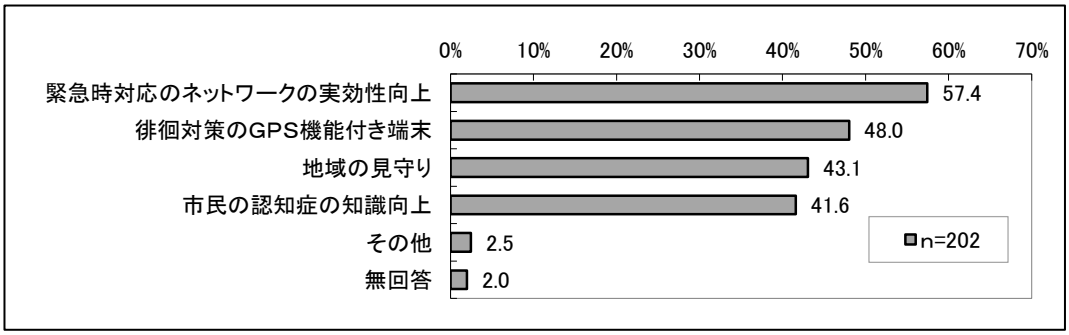
問 28　地域で認知症高齢者を支えていくためには何が必要ですか。あなたの考えに近いものはどれですか。　【複数回答】

▼

結果概要

「緊急時対応のネットワークの実効性向上」が 57.4%で最も多く、「徘徊対策のＧＰＳ機能付き端末」（48.0%）、「地域の見守り」（43.1%）が続いています。
「緊急時対応のネットワークの実効性向上」は女性 61.6%に対して男性 52.2%となっており、女性でやや関心が高い傾向がみられます。

■地域で認知症高齢者を支えるために必要なこと(全体)■



■地域で認知症高齢者を支えるために必要なこと(全体・属性別、一位の数値に網掛け)■

		合計	問28 地域で認知症高齢者を支えるために必要なこと					
			地域の見守り	市民の認知症の知識向上	徘徊対策のＧＰＳ機能付き端末	緊急時対応のネットワークの実効性向上	その他	無回答
全体		202	87	84	97	116	5	4
		100.0%	43.1%	41.6%	48.0%	57.4%	2.5%	2.0%
性別	男性	90	37	39	45	47	1	1
		100.0%	41.1%	43.3%	50.0%	52.2%	1.1%	1.1%
	女性	112	50	45	52	69	4	3
		100.0%	44.6%	40.2%	46.4%	61.6%	3.6%	2.7%
年齢	20～30歳代	54	19	22	28	30	0	1
		100.0%	35.2%	40.7%	51.9%	55.6%	0.0%	1.9%
	40歳代	45	14	19	19	28	1	1
		100.0%	31.1%	42.2%	42.2%	62.2%	2.2%	2.2%
	50歳代	67	38	27	29	37	2	2
		100.0%	56.7%	40.3%	43.3%	55.2%	3.0%	3.0%
	60歳代	36	16	16	21	21	2	0
		100.0%	44.4%	44.4%	58.3%	58.3%	5.6%	0.0%

(5)困っている人に協力できること

問 30　困っている方にあなた自身が協力できそうなことはありますか。【複数回答】

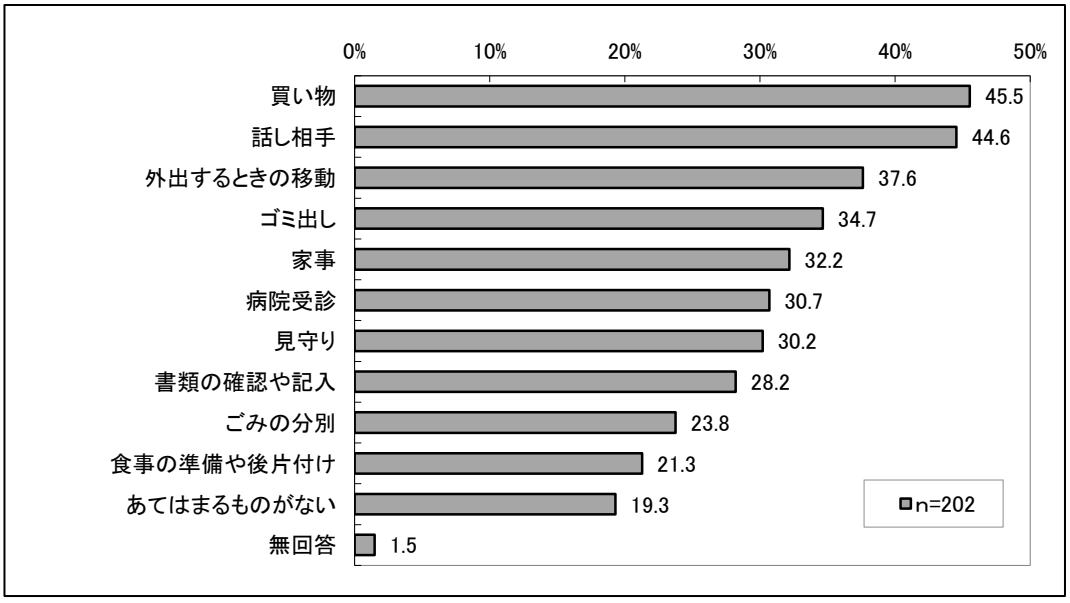
▼

結果概要

「買い物」が 45.5%で最も多く、「話し相手」（44.6%）、「外出するときの移動」（37.6%）が続いています。

「あてはまるものがない」は 19.3%となっています。

■困っている人に協力できること(全体)■



(6)保険料と介護サービスのあり方について

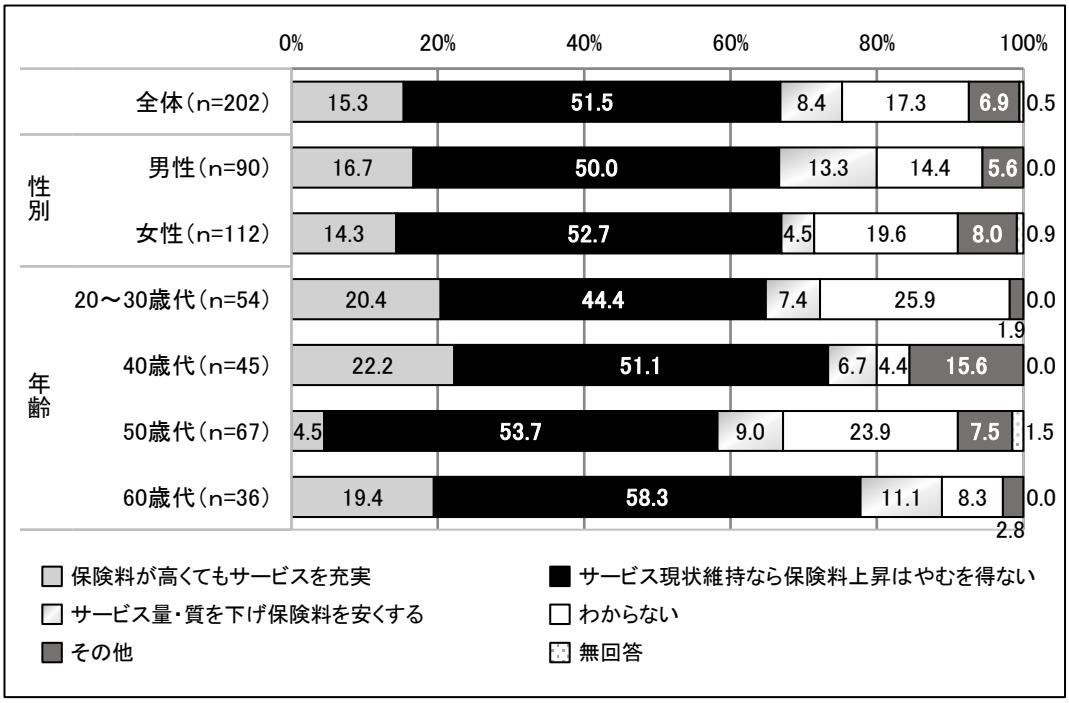
問 32　介護保険制度では、介護サービスの利用者が多くなると、皆さんが負担する介護保険料が高くなります。今後の保険料のあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

▼

結果概要

「サービス現状維持なら保険料上昇はやむを得ない」が 51.5%と最も多くなっています。
「わからない」は 20～30 歳代で 25.9%と他の年代より高く、若い年代で制度への理解や関心が相対的に低い傾向がうかがえます。

■保険料と介護サービスのあり方について(全体・属性別)■



(7)高齢者福祉政策で重点を置くべきこと

問 35　今後、高齢化が一層進んでいく中で、名寄市の高齢者福祉政策はどのようなことに重点を置いて進めるべきだと思いますか。【複数回答】

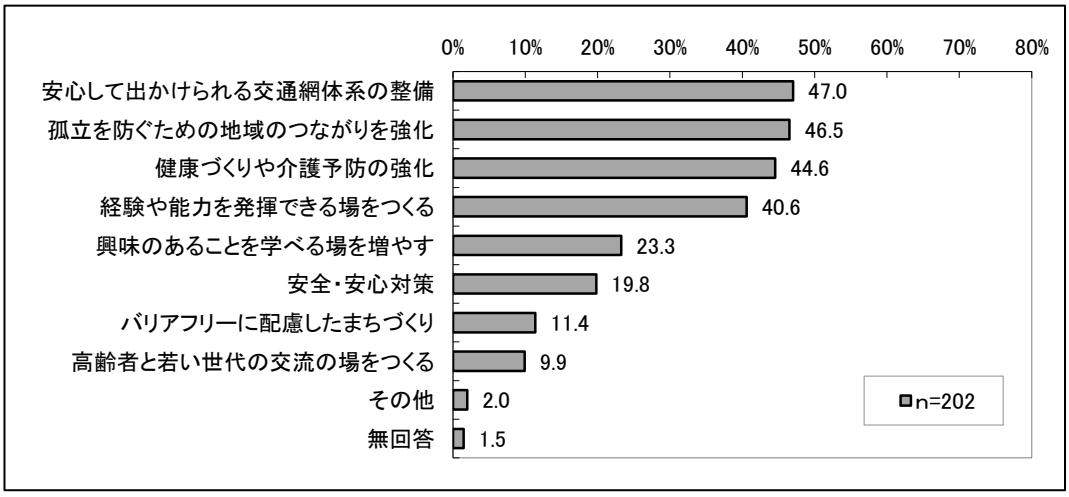
▼

結果概要

「安心して出かけられる交通網体系の整備」が 47.0%で最も多く、「孤立を防ぐための地域のつながりを強化」（46.5%）、「健康づくりや介護予防の強化」（44.6%）が僅差で続いています。

「安心して出かけられる交通網体系の整備」は 50 歳代で 59.7%と高く、女性 50.0%は男性 43.3%を上回るなど、移動手段の確保への関心が高くなっています。

■高齢者福祉政策で重点を置くべきこと(全体)■



第3節　アンケート調査結果の総括

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

介護・介助が必要な方は 16.2%にとどまる一方、85 歳以上では 47.9%に達し、その主な原因は「高齢による衰弱」(32.9%)でした。特定の疾病対策に加え、フレイル予防を含む介護予防の取組を、後期高齢期に入る前から進めることが課題です。

「1人暮らし」も女性や 85 歳以上で多く、見守りや生活支援の充実が求められます。

地域活動への参加意向は、参加者としては 57.5%と過半数ですが、企画・運営としては 34.2%にとどまっており、担い手の確保が課題です。

また、認知症に関する相談窓口を知らない方が 60.7%を占めていることから、相談窓口の周知が求められます。

2. 在宅介護実態調査

在宅で介護を受けている方の傷病は「認知症」が 66.6%と最も多く、介護者が不安に感じる介護等でも「認知症状への対応」(42.6%)が最上位でした。認知症の方を在宅で支える体制づくりが、計画の重要な柱になります。

求める支援は「デイサービス等介護サービスの拡充」(49.3%)と「介護者向け相談窓口・支援体制充実」(39.1%)が高く、サービスの量的な確保とあわせて、介護者への相談・支援の充実が課題です。

一方、認知症の心配があったときに受診・相談を行うと答えた方は 86.3%と大多数を占めており、その受け皿となる相談体制を整えることが重要です。

3. 保健医療福祉についてのアンケート

生活習慣病予防の運動を「している」方は 41.1%で、特に女性(25.9%)が男性(60.0%)を大きく下回っており、女性の運動習慣づくりが課題です。

特定健診を「受診した」方は 65.5%で、受診率向上に向けた働きかけも必要です。

チームオレンジの活動は、「興味はあるが参加が難しい」(44.1%)が多く、関心のある方が参加しやすい環境づくりが求められます。認知症高齢者を支えるために必要なことでは、「緊急時対応のネットワークの実効性向上」(57.4%)が最も高く、地域の支援体制の実効性を高めることが課題です。

高齢者福祉政策では「安心して出かけられる交通網体系の整備」(47.0%)が最も高く、移動手段の確保が重要とされています。